

# カンガルーシップ活動 理解プロジェクト 実施報告書

報告日	平成30年2月23日
学校名	愛知教育大学附属特別支援学校
PTA会長名	佐藤 元泰

実施概要	実施活動名	友達をふやそう（岡崎市立愛宕小学校との地域交流）
	実施日時	平成29年11月24日（金）11:00～11:40 平成30年1月25日（木）11:00～11:40 平成29年2月21日（水）10:00～11:00
	実施場所	愛知教育大学附属特別支援学校（くすのきホーム, 体育館, 小学部運動場）
	実施目的	本校の小学部児童と近隣の学校である愛宕小学校の児童との交流活動を通して、障害のある子どもたちへの理解啓発を行う。
	実施内容	2学期と3学期に、愛宕小児童を本校に招き、教室や運動場で交流を行う。また、本校児童も愛宕小学校へ出かけ、愛宕小学校でも交流活動を行う。
	実施方法	事前に担当教員同士が連絡を取り合い、本校の児童が興味をもち、楽しく取り組める活動について話し合う。そして、様々な活動の中から、無理なく取り組むことのできる活動で実際に交流活動を行う。また、本校児童が愛宕小児童のためにできることは何かを考え、交流のお礼としての活動を行う。
	参加人数	42名（附属特別支援学校11名、愛宕小学校5年生児童31名）

報告事項	内容	<p>第1回</p> <p>① 日時 11月24日（金）11:00から11:40</p> <p>② 場所 さくら教室（さくら学級）、体育館（すみれ学級）、くすのきホーム（あおい学級）</p> <p>③ 参加者 愛宕小学校5年生児童31名 附属特別支援学校小学部児童11名</p> <p>④ 活動内容 愛宕小学校児童31名が10名程度×3グループにわかれて各学級と交流を行う。</p> <p>第2回</p> <p>① 日時 1月25日（木）10:40から11:20</p> <p>② 場所 さくら教室（さくら学級）、くすのきホーム（すみれ学級）、体育館（あおい学級）</p> <p>③ 参加者 愛宕小学校5年生児童31名 附属特別支援学校小学部児童11名</p> <p>④ 活動内容 愛宕小学校児童31名が10名程度×3グループにわかれて各学級と交流を行う。</p> <p>第3回</p> <p>① 日時 2月21日（水）10:00から11:00</p> <p>② 場所 岡崎市立愛宕小学校</p> <p>③ 参加者 愛宕小学校5年生児童31名 附属特別支援学校小学部児童11名</p> <p>④ 活動内容 交流相手の児童に対して、本校の子どもがお礼の気持ちを伝える。</p>
	結果	<p>○ 第1・2回目の交流を通して、次のような結果があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 愛宕小学校の子たちが、さくら、すみれ、あおいの子たちのことをよく理解してくれていた。</li> <li>・ 愛宕小で事前に本校の子たちについて話し合い、ゲームの内容もよく考えてくれていたので、みんな楽しんでできた。</li> <li>・ 児童Aは去年楽しく「だるまさんがころんだ」をやったことを覚えており、リクエストした。愛宕小の子たちも予定になかったが、急遽やってくれ、楽しくできた。</li> </ul> <p>○ 第3回目の交流では、交流活動のお礼として、本校の子どもたちから愛宕小児童へ、チューリップの鉢植えをプレゼントした。</p>
	所感	<p>○ 継続してきたことにより、相互の理解が深まってきた。特に、愛宕小の子たちが本校の子たちについて理解し、ゲームの内容を考えたり、遊んだりしている。</p> <p>● 今回、愛宕小の子が考えてきたが、本校の子の実態から難しく、できないゲームもあった。向こうで考えているゲームや内容について連絡を取り合い、向こうからの相談を受けたり、こちらからアドバイスをしたりする時間がとれるとよかった。</p>

添付書類

収支決算書、領収書、参加者の声（附属特別支援学校職員）、写真

# カンガルーシップ活動 理解プロジェクト参加感想

提出日	平成30年2月23日
学校名	愛知教育大学附属特別支援学校
学年	小学部

## 【愛宕小学校との交流（11月24日）】



## 【愛宕小学校との交流（1月25日）】



## 【愛宕小学校との交流（2月21日）】



## カンガルーシップ活動 理解プロジェクト参加感想

提出日	平成30年2月23日
学校名	愛知教育大学附属特別支援学校

### 【本校職員から見た子どもたちの様子】

#### ○ 第1回目

- ・ 愛宕小学校の子たちが、さくら、すみれ、あおいの子たちのことをよく理解してくれていた。
- ・ 愛宕小で事前に本校の子たちについて話し合い、ゲームの内容もよく考えてくれていたので、みんなで楽しむことができた。

#### ○ 第2回目

- ・ 愛宕小の児童が前回のことを踏まえ、ゲームの内容もよく工夫してくれていたため、前回よりも楽しむことができた。
- ・ 今年の中でも二回繰り返したことで、附特と愛宕小相互の理解がより深まった。

#### ○ 第3回目

- ・ 愛宕小のグラウンドと道具をお借りし、サッカーボールや遊具を楽しむことができた。
- ・ 花を渡す前に遊具で一緒に遊んで楽しい時間を過ごしたため、温かい雰囲気の中で花を渡し、感謝の思いを伝えることができた。
- ・ 今年度も愛宕小の児童との交流を継続したことで来年の交流につなげることができた。
- ・ 二回本校に来てもらい、三回目で愛宕小を訪問するという流れは、継続していくとよい。
- ・ 期日については、来年度の年間行事予定で検討しなくてはならないが、もし可能ならば1回目が早い時期に実施できるとよい。
- ・ 本校と愛宕小それぞれの交流へのねらいについて担当者が話しておくとうよい。子どもたちは楽しく交流することができているので、交流学习ならば今のままでも十分である。